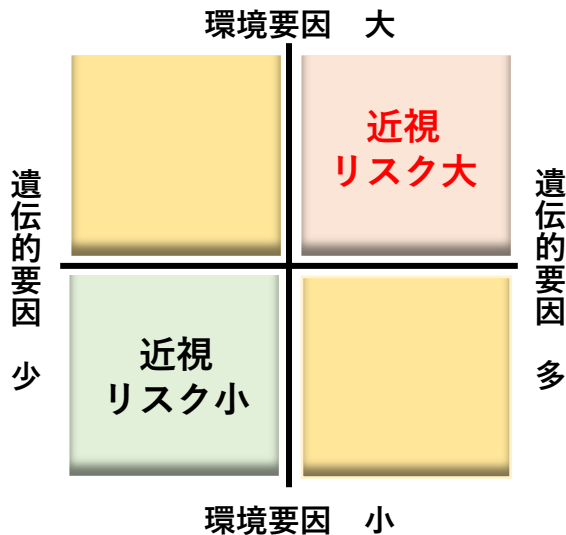




近視進行のリスク

学校健診で目が悪くなったと指摘され、受診するお子さんが増えています。近視進行のリスクは、**環境要因**と**遺伝的要因**があると言われていています。環境要因は視距離が短く長時間連続した近業、屋外よりも屋内で過ごすことが多い児童は近視リスクが高くなります。遺伝的な要因では、両親が近視のお子さんは注意が必要です。片親が近視である場合、子供が少なくとも16歳までに近視が発症するリスクは両親ともに近視でない子供と比較して**6倍高い**と言われております。

当院では、近視の遺伝的リスクを知るために自宅でできる近視関連遺伝子を調べることでできる**遺伝子キット**を販売しております。お子様の口腔粘膜を採取して、検査会社へポスト投函すると遺伝子リスクについて結果が帰ってきます。もし、遺伝的リスクの高いお子様は、近視になる前から近視進行予防に取り組んでいくことがより効果的になると思います。



当院で可能な近視抑制治療

- ① 0.01%アトロピン点眼
- ② オルソケラトロジー
- ③ 多焦点コンタクトレンズ
- ④ サプリメント

ご興味のある方は、院長へご相談ください。より詳しい案内をいたします。



遺伝子キット
10000円
* 保険適応なし